

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (864), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial and implementation data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価 and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (865), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	866	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	違反宅地開発事業是正指導事務		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	都市部・市街地整備課							
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.95人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	8,265千円 (うち人件費 8,265千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)							
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	・市内で行われた都市計画法に違反する宅地開発事業の是正指導を推進し、早期是正を図る。 ・違反宅地開発事業を未然に防止する。										
(3) 事業内容	内容	・都市計画法第29条第1項本文及び同法第43条第1項本文の許可処分に違反して行う事業又はこれらの許可を得ずに行う事業等を施行する違反宅地開発事業者に対して、是正指導を行い早期是正を図る。 ・違反宅地開発事業を未然に防止するため、必要な措置を講じる。			当該年度執行計画	・年間を通して、定期的な宅地パトロール(年12回)と通報等による緊急的な宅地パトロールを実施する。なお、パトロール等により発見したときは、速やかに我孫子市違反宅地開発事業事務処理要領に基づき事務を行う。										
		当該年度活動結果指標	違反宅地開発事業の是正件数		単位	件	想定値	5								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値							
当該年度	違反宅地開発事業の是正を図る。				直接	是正件数		件	0 5							
令和3年度	違反宅地開発事業の是正を図る。				直接	是正件数		件	5							
令和4年度	違反宅地開発事業の是正を図る。				直接	是正件数		件	5							
(7) 事業実施上の課題と対応	違反宅地開発事業者に対する是正指導において、都市計画法の目的、制限等を的確かつ論理的に指導できるよう職員の資質の向上に努める。また、違反宅地開発事業を増加させないための広報及びホームページを活用した周知、啓発を行う。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			違反宅地開発事業是正指導に係る事務	0		違反宅地開発事業是正指導に係る事務	0				違反宅地開発事業是正指導に係る事務	0			違反宅地開発事業是正指導に係る事務	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		0		0		0		0		0		0		0		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
換算人数(人)		0.95		0.95		0.95		0.95		0.95		0.95		0.95		
正職員人件費		8,360		8,265		8,265		8,265		8,265		8,265		8,265		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		8,360		8,265		8,265		8,265		8,265		8,265		8,265		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,672千円/件		1,653千円/件												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	法に基づく事務処理市として、都市計画法に違反する宅地開発事業の是正指導を推進することは、適正な土地利用を実現するために必要不可欠である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 対象なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
		○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 対象なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	○要 ○不要
		0	5	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
		8,265	95	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託					<超過理由等>	○要 ○不要
		事業費削減率(%)		<削減の内容>						
		1.14								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値(%)		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要
	0.06	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	(h/e)×100			○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (867), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	868	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成29年度 ~			⑥担当職員数	7人 (換算人数 1.6人)					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	13,986千円 (うち人件費 13,920千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	本市の特性に応じたまちづくりを推進し、良好な都市環境の形成を図るため、我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準に基づき、法第29条第1項に規定する開発行為の許可を行う。					
(3) 事業内容	内容	我孫子市における建築、開発行為に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づく近隣住民への説明や、我孫子市景観条例に基づく事前協議、公共施設等の整備による良質な宅地水準を確保するため我孫子市開発行為に関する条例に基づく事前協議書を締結するとともに、事前協議締結後の開発許可申請書に基づき、法令及び我孫子市開発行為に関する条例、我孫子市開発行為等運用・審査基準に適合することの書類・図書の審査を行い、適合すると認められた場合は、開発許可申請者に対して開発許可通知書を交付し、その後、完了検査の実施、検査済証の交付を経て、工事完了公告を行う。			当該年度執行計画	・年間を通して、開発許可申請書を受理したときは、適正な期間内で速やかに審査を行い、基準に適合しているものについて許可書を交付する。 ・年間を通して、工事完了届を受理したときは、適正な期間内で速やかに検査を行い、合格したものについて検査済証を交付し完了公告を行う。 ・年度内に我孫子市開発行為に関する条例、我孫子市開発行為等運用・審査基準の一部見直しを行う。					
		当該年度活動結果指標	開発許可通知書の交付件数	単位	件	想定値	16		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	都市計画法第29条の規定に基づき適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%	100	100	
令和3年度	都市計画法第29条の規定に基づき適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%		100	
令和4年度	都市計画法第29条の規定に基づき適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	都市計画法第29条の規定に基づき開発行為許可申請を適正に審査するため、都市計画法の目的、制限等を明確、かつ論理的に把握するよう職員の資質の向上に努める。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		開発行為許可に係る事務 弁護士相談料 15,000円×1.08×3回= 48,600円 15,000円×1.10×3回= 49,500円	99	開発行為許可に係る事務 弁護士相談料 15,000円×1.10×4回= 66,000円	66	開発行為許可に係る事務 弁護士相談料 15,000円×1.10×4回= 66,000円	66	開発行為許可に係る事務 弁護士相談料 15,000円×1.10×4回= 66,000円	66		
		予算(決算)額	合計	99	合計	66	合計	66	合計	66	
		国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源	99		66		66		66		66		
その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(9) 財源内訳	換算人数(人)	1.7		1.6		1.7		1.7			
(10) 人件費等	正職員人件費	14,960		13,920		14,790		14,790			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	15,059		13,986		14,856		14,856			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	836.61千円/件		874.13千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	法に基づく事務処理市として、我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準に基づき、法第29条第1項に規定する開発行為の許可をする必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 対象なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		・緑地の確保 ・雨水を浸透させ地下水の涵養を図る				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	7.13	事業費(c)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.72	単位	費用単位	10万円	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	869	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課							
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	平成14年度 ~			⑥担当職員数	7人 (換算人数)		1.3人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	11,310千円 (うち人件費 11,310千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	開発許可を申請しようとする者は、法第32条に基づき、開発行為に係る公共施設の設置及び管理に関して、公共施設を管理することとなる者と協議し同意を得なければならないことから、当該協議を行う。										
(3) 事業内容	内容	開発行為を行うおとする者から事前協議申請書を受付したときは、我孫子市開発行為に関する条例に規定する事項（公共施設・公益的施設に関する事項、緑化の推進に関する事項、その他市長が必要と認める事項）について申請者と協議を行い、協議が整ったときは、協議書を締結する。			当該年度執行計画	・年間を通して、事前協議申請者から事前協議申請書を受付したときは、適正な期間内で関係課と協議を行い、協議が整った場合は協議書を作成し締結する。 ・開発面積が3000平方メートル以上の開発行為にあつては、原則として開発検討会を開催する。										
		当該年度活動結果指標	事前協議書の締結件数。		単位	件	想定値	14								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値						
当該年度	都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。				直接	事前協議締結率 (事前協議締結件数/事前協議申請件数)		%	100	100						
令和3年度	都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。				直接	事前協議締結率 (事前協議締結件数/事前協議申請件数)		%		100						
令和4年度	都市計画法第32条の規定に基づき適正な期間で協議書を締結する。				直接	事前協議締結率 (事前協議締結件数/事前協議申請件数)		%		100						
(7) 事業実施上の課題と対応	市が定めた条例、施行規則及び運用・審査基準により、必要となる公共施設等の整備に関する基本的事項等の事業者との協議において、これらの基本的事項について、理解を得ることに相当の時間を要する場合があることから、事前協議締結に向けて、事業者に対する的確かつ論理的に指導できるような職員の資質の向上に努める。				代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			開発行為事前協議に係る事務	0		開発行為事前協議に係る事務	0				開発行為事前協議に係る事務	0			開発行為事前協議に係る事務	0
		合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0					
		予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0	予算(決算)額	0					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		0		0		0		0		0		0			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.4		1.3		1.4		1.4								
	正職員人件費	12,320		11,310		12,180		12,180								
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0								
	臨時職員賃金額	0		0		0		0								
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,320		11,310		12,180		12,180									
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	880千円/件		807.86千円/件													

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	法に基づく事務処理市として、我孫子市開発行為に関する条例に基づき、道路、公園などの公共施設等の設置及び管理に関して、関係各課と協議し協議書を締結する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>						○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 対象なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	■①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>		・緑地の確保 ・雨水を浸透させ地下水の涵養を図る				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 ■③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 ■④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
8.2										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.88	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 870 課コード 0705 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5) 現況値, (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫: 参加・協働の内容, 工夫の具体的な内容
環境への配慮: 配慮の視点, 取組む内容
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	875	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	組合・個人旅行による土地区画整理事業についての指導業務			実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課			
		個別事業	土地区画整理事業の業務全般										
	③事業主体	●市 ○その他 ()											
	⑤事業期間	平成16年度 ~				⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円			当該(開始)年度	(当初)	2,195千円 (うち人件費 2,175千円)					
					(変更後)	千円 (うち人件費 千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61003	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側まちづくり事業の早期完了をめざします。				事業目的	土地区画整理事業を施行しようとする個人又は団体等に対して、事業化に向けた相談や助言を行う。						
(3) 事業内容	内容	土地区画整理事業に関する制度の仕組みをパンフレットで説明し、事業を誘導していく。				当該年度執行計画	・土地区画整理事業に係る資料の提供を行う。 ・組合・個人旅行の土地区画整理事業について、新規事業の相談業務を実施する。						
						当該年度活動結果指標	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数		単位	件	想定値	360	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	件	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	土地区画整理事業に関する資料の提供及び相談処理				直接	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数		件		356	360		
令和3年度	土地区画整理事業に関する資料の提供及び相談処理				直接	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数		件			360		
令和4年度	土地区画整理事業に関する資料の提供及び相談処理				直接	土地区画整理事業に係る資料の提供・照会件数		件			400		
(7) 事業実施上の課題と対応	組合・個人旅行の土地区画整理事業に係る新規事業の相談業務においては、土地区画整理事業や補助金等に高度な専門的知識を必要とする。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	
			旅費	4		旅費	2		旅費	2		旅費	2
			消耗品費	10		消耗品費	10		消耗品費	10		消耗品費	10
			負担金	17		負担金	8		負担金	17		負担金	17
	予算(決算)額	合計	31	合計	20	合計	29	合計	29				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%				
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%				
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%				
	一般財源		31		20		29		29				
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.25		0.4		0.4					
	正職員人件費	3,520		2,175		3,480		3,480					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,551		2,195		3,509		3,509						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	9.86千円/件		6.1千円/件										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	施行済みの土地区画整理事業の成果を活用するため。また、今後の施行希望者に対して市のまちづくり方針を周知するため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	356	360	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	(g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.18	単位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	(h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (876), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and a detailed budget table for (8) 施行事項 with columns for fiscal year, content, amount, and policy.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (877), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2226	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	まちづくり事業の業務全般		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	平成30年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.15人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,305千円 (うち人件費 1,305千円)								
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61003	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の我孫子駅前土地区画整理事業と布佐駅南側まちづくり事業の早期完了をめざします。			事業目的	平成29年度で布佐駅南側まちづくり事業は完了したが、まちづくり事業に関する問い合わせに対応する。									
(3) 事業内容	内容	まちづくり事業に関する問い合わせへの対応			当該年度執行計画	まちづくり事業に関する問い合わせ									
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	件	想定値	実績値				
当該年度	まちづくり事業に関する問い合わせ処理				直接	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数		件		0	1				
令和3年度	まちづくり事業に関する問い合わせ処理				直接	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数		件			1				
令和4年度	まちづくり事業に関する問い合わせ処理				直接	まちづくり事業に関する問い合わせ処理件数		件			1				
(7) 事業実施上の課題と対応	今後、まちづくりが必要になった際に事業の計画等を行う。				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			まちづくりに関する問い合わせ対応	0		まちづくりに関する問い合わせ対応	0				まちづくりに関する問い合わせ対応	0		まちづくりに関する問い合わせ対応	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源		0		0		0		0		0		0			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.15	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2	換算人数(人)	0.2			
	正職員人件費	1,760	正職員人件費	1,305	正職員人件費	1,740	正職員人件費	1,740	正職員人件費	1,740	正職員人件費	1,740			
	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0	嘱託職員報酬額	0			
	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0	臨時職員賃金額	0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,760	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,305	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,740	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,740	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,740	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,740			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	1,760千円/件		1,305千円/件												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	・まちづくり事業に関する問い合わせ等に対応するため。 ・今後、まちづくりが必要となった際に、事業の計画等を行うため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		事業化する際は、市民との協働で地区計画等を策定する。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 事業化する際は、環境に配慮し事業を進める。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	1	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.08	単位 費用単位 件	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表(令和2年度)

Header table with columns: 事業コード (2253), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.